

新技術等登録申請用紙

受付 No ¹	MA240924-43	申請年月日 ¹	平成24年9月24日			
開発者等	会社名	日本ハイコン株式会社				
	担当部署	本社営業部	担当者	佐古俊一		
	住所	鳥取県米子市彦名町4500				
	TEL	0859-29-0561(代表)	FAX	0859-29-4870		
	E-mail	s-sako@n-haikon.co.jp	URL:			
	共同開発の会社名		開発年月	H18年		
新技術名称	MCS(スリム型)可変側溝					
概要	<p>・細骨材にナスサンド・廃ガラスを混ぜた自由勾配側溝である。</p> <p>・側壁部分がフラットで埋戻し時に転圧不足・ローラーによる壁上部の欠けが無く、既設構造物に対して隙間なく付ける事ができる。</p> <p>・蓋の幅が従来の同等品より小さくなり安価になる。</p> <p>・別紙1参照</p>					
分類 (該当欄に)	工法	施工機械	材料	製品		
新技術等の対象条件 (該当欄に)	ア 県内に存在する本支店や製造工場により開発されたもの					
	イ 主として県内産資材を使用し、県内に存在する製造工場により生産されたもの					
活用効果	比較する従来技術		自由勾配側溝(可変側溝)			
項目	活用の効果			比較の根拠		
機能性	向上	同程度	低下			
耐久性	向上	同程度	低下			
施工性	向上	同程度	低下	埋戻し時確実な転圧が出来、路盤・舗装の下がりがない。民地側に既設構造物がある場合でも、隙間を空けずに施工ができる。		
安全性	向上	同程度	低下			
施工時の自然環境への影響	低下	同程度	増加			
コスト削減	向上(3.7%)	同程度	低下(%)	蓋版コストが安価・製品幅が小さくなるため軽量化。		
工程	向上(%)	同程度	増加(%)			
施工実績 (施工実績が多い場合は直近の工事3件を記載し、その他は別紙とすること。)	県内公共工事 0 件			県外公共工事 6 件		
	発注者名	工事名	工期	発注者名	工事名	工期
				東広島市	中島地区污水管渠建設工事	H24年12月
				滋賀県東近江市	市道瓜生津土器線道路整備工事	H24年9月
				滋賀県彦根市	京町一丁目水路改修工事	H24年5月
国関係機関による技術審査証明や評価 ²	制度名		証明機関			
	名称及び番号		証明年月日			
その他機関による証明や評価	制度名		証明機関			
	名称及び番号		証明年月日			
特許、実用新案	名称及び特許番号		取得年月日			
NETIS登録	名称及び登録番号		登録年月日			

特 徴

長 所
 ・施工性の向上
 1)側壁を垂直形状にすることで、民地側に既設構造物等がある場合でも、隙間を空けずに施工ができます。
 2)道路側においても、転圧不足による地盤の沈下を防ぐことになり、段差や水溜りの発生を防止します。
 ・経済性の向上
 1)1サイズ小さい蓋を使用しますので、製品幅が小さくなることになり土地の有効利用ができます。また、軽量化によりコスト縮減につながり、施工後のメンテナンスもし易くなります。

短 所
 特になし

適用条件

適用可能な範囲
 従来通り

適用できない範囲
 特になし

留意事項

設計時
 既存可変側溝に準拠

施工時
 特になし

維持管理時
 側溝清掃時に、300幅の側溝は従来品より蓋がかりの部分の開口が小さいので、大型のスコップでは清掃が困難である。

従来技術との施工単価の比較

自由勾配側溝施工価格表(参考歩掛)						MCS可変側溝						自由勾配側溝施工価格表(参考歩掛)						従来可変側溝													
B300(340)+H400*2m (10m当たり)						B300+H400*2m (10m当たり)						B300+H400*2m (10m当たり)						B300+H400*2m (10m当たり)													
工 種	名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要	工 種	名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要	工 種	名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要	工 種	名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
側溝工	自由勾配側溝	300*400*2000	5	本	14,800	74,000	420kg	側溝工	自由勾配側溝	300*400*2000	5	本	14,800	74,000	420kg	側溝工	自由勾配側溝	300*400*2000	5	本	14,800	74,000	420kg	側溝工	自由勾配側溝	300*400*2000	5	本	14,800	74,000	420kg
	コンクリート蓋	300用(車道)L=500	10	枚	1,720	17,200	37kg		コンクリート蓋	300用(車道)L=500	10	枚	1,840	18,400	42kg		コンクリート蓋	300用(車道)L=500	10	枚	1,840	18,400	42kg		コンクリート蓋	300用(車道)L=500	10	枚	1,840	18,400	42kg
	小計					91,200			小計					92,400			小計						92,400		小計						
本体据付工	世話役		0.3	人	16,300	4,890		据付工	世話役		0.3	人	16,300	4,890		据付工	世話役		0.3	人	16,300	4,890		据付工	世話役		0.3	人	16,300	4,890	
	特殊作業員		0.3	人	13,800	4,140			特殊作業員		0.3	人	13,800	4,140			特殊作業員		0.3	人	13,800	4,140			特殊作業員		0.3	人	13,800	4,140	
	普通作業員		1	人	10,800	10,800			普通作業員		1	人	10,800	10,800			普通作業員		1	人	10,800	10,800			普通作業員		1	人	10,800	10,800	
	クレーン運転	クレーン4.8~4.9t	0.3	日	37,000	11,100	建設物価		クレーン運転	クレーン4.8~4.9t	0.3	日	37,000	11,100	建設物価		クレーン運転	クレーン4.8~4.9t	0.3	日	37,000	11,100	建設物価		クレーン運転	クレーン4.8~4.9t	0.3	日	37,000	11,100	建設物価
	諸雑費率		1	%		198			諸雑費率		1	%		198			諸雑費率		1	%			198			諸雑費率		1	%		
	小計					31,128			小計					31,128			小計						31,128			小計					
基礎・コンクリート	基礎砕石	材工共	5.6	m2	905	5,068	RCC-40	基礎・コンクリート	基礎砕石	材工共	6.0	m2	905	5,430	RCC-40	基礎・コンクリート	基礎砕石	材工共	6.0	m2	905	5,430	RCC-40	基礎・コンクリート	基礎砕石	材工共	6.0	m2	905	5,430	RCC-40
	型枠	基礎コンクリート用	1.0	m2	2,424	2,424			型枠	基礎コンクリート用	1.0	m2	2,424	2,424			型枠	基礎コンクリート用	1.0	m2	2,424	2,424			型枠	基礎コンクリート用	1.0	m2	2,424	2,424	
	基礎コンクリート	材工共	0.28	m3	18,722	5,242	18N		基礎コンクリート	材工共	0.3	m3	18,722	5,617	18N		基礎コンクリート	材工共	0.3	m3	18,722	5,617	18N		基礎コンクリート	材工共	0.3	m3	18,722	5,617	18N
	インバートコンクリート	材工共	0.17	m3	21,004	3,571	18N		インバートコンクリート	材工共	0.15	m3	21,004	3,151	18N		インバートコンクリート	材工共	0.15	m3	21,004	3,151	18N		インバートコンクリート	材工共	0.15	m3	21,004	3,151	18N
	小計					16,305			小計					16,621			小計						16,621			小計					
蓋設置工	コンクリート蓋設置	300用(車道)L=500	10	枚	210	2,100	10~40kg以下	蓋設置工	コンクリート蓋設置	300用(車道)L=500	10	枚	600	6,000	40~70kg以下	蓋設置工	コンクリート蓋設置	300用(車道)L=500	10	枚	600	6,000	40~70kg以下	蓋設置工	コンクリート蓋設置	300用(車道)L=500	10	枚	600	6,000	40~70kg以下
	小計					2,100			小計					6,000			小計						6,000			小計					
	合 計					140,733			合 計					146,149			合 計						146,149			合 計					
	1.0m当たり					14,073			1.0m当たり					14,614			1.0m当たり						14,614			1.0m当たり					

※歩掛は、運搬距離30m程度までの小運搬を含む据え付け作業であり、床掘、埋戻しは含まない。
 ※ 比較 1.0m当り14,614円に対して14,073円となり、約3.7%安価になる

施工歩掛	県土木工事標準積算基準書 その他公的機関が制定した基準 (基準名:) 協会歩掛(協会名:) カタログ歩掛、 無	材料単価	掲載あり (建設物価、積算資料、県単 価表) 無
------	---	------	-----------------------------------

残された課題と今後の開発計画

添付資料

資料-1 パンフレット	資料-5 コンクリート配合報告書
資料-2 施工価格比較表	資料-6 製品強度試験報告書
資料-3 施工実績表	資料-7 類似製品
資料-4 構造対比図	

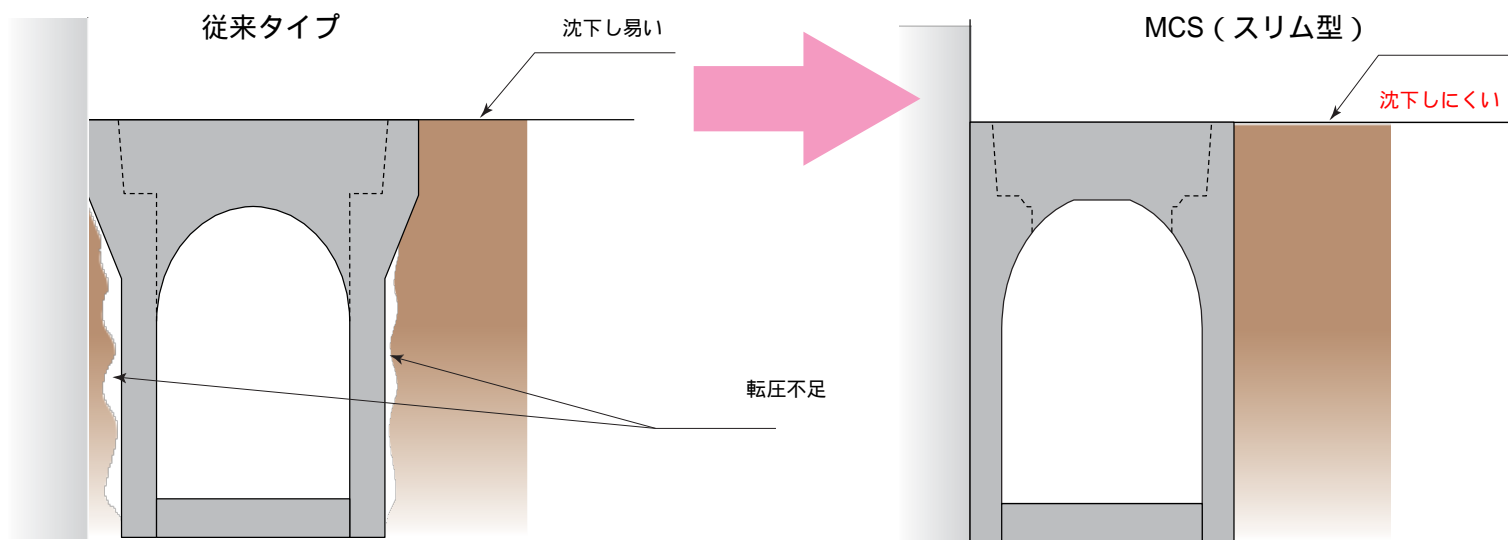
- 1 は記入しないでください。
- 2 新技術情報提供システム(NETIS)の場合、事後評価を受けたものが対象となります(登録のみは対象外)。記入欄が不足する場合は、別紙として添付してください。

別紙1

MCS可変側溝の特長

施工性の向上

- 1.側壁を垂直形状にすることで、民地側に既設構造物等がある場合でも、隙間を空けずに施工ができます。
- 2.道路側においても、転圧不足による地盤の沈下を防ぐことになり、段差や水溜まりの発生を防止します。



経済性の向上

1サイズ小さい蓋を使用しますので、製品幅が小さくなることになり土地の有効利用ができます。また、軽量化によりコスト縮減につながり、施工後のメンテナンスもし易くなります。

